

8 月 17 日：利益確定圧力が高まり下落 (VN-Index -0.79%)

- ビンググループ関連株への過熱感が低下し、VN 指数は下落して取引を開始した。
- 大型株では HPG (+0.5%)、VNM (+0.7%) と金融サービスセクターの一部の銘柄はなんとか上昇していたが、全体として軟調な動きが続いた。
- 午後に入ると売り圧力はさらに高まった。上昇銘柄も上げ幅を縮め、指数は大きく下落して取引を終えた。
- 150 銘柄のみが上昇、320 銘柄が下落、56 銘柄は変わらずだった。
- 流動性は前日比で増加し、売買代金は 25.5 兆ドンだった。

VN30 指数も下落 (VN30 -0.73%)

- 大型株で構成する VN30 指数は 10 銘柄が上昇、19 銘柄が下落、1 銘柄が変わらずだった。
- 昨日上昇したビンググループ関連 3 社の VIC (-4.9%)、VHM (-3.0%)、VRE (-2.9%) が下げを主導。
- 一方、FPT (+1.1%) と SSI (+3.8%) は相場を支えた。

セクター・個別株の動き

- FTS (+1.9%)、VDS (+2.9%)、SSI (+3.8%) などが属する金融サービスセクターは上昇。HOSE が KRX システムについての会議を行うことから新システムへの期待感が強まった。
- LDG がストップ安。未開示のまま会長が 260 万株を売却しようとしたことが明らかとなった。
- 外国人投資家はホーチミン市場で 1,181 億ドンの買い越しに転じた。CTG や VIC に買いが集まった。一方、MSN、VPB、MWG などは売り越された

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。